# NIE実践報告

1．タイトル：新聞を通して生徒の思考力・表現力を高める

2．学校名

所沢市立東中学校

3．実践者名（代表者名）

菅原久寿

4．学年

第１学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　　186人

6．単元（本時の学習課題）名

「身近な時事問題に触れる」

7．目標(狙い)

新聞記事を通して、身の回りに起こっている出来事や世の中の動きを知り、自分の意見を持ち、発表する。

8．評価の視点

世の中の動きなどに対して関心を持ち、自分の意見を持つことができたか。
新聞記事を読み取り、「自分は・・・思う。」などと発表することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

補充・深化「身近な時事問題に触れ、自分の意見を持ち、発表しよう」

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①　新聞の見方を学び、自分の興味・関心を持った記事を見つけ、自分の意見をまとめよう。（１時間）
②　提示された世の中の動きに関する新聞記事に対して、自分の意見をまとめよう。（１時間）
③　自分の興味・関心を持った記事に対して、意見をまとめよう。（長期休業中を利用）

（留意点）
・まずは分かりやすく新聞の読み方に関して説明し、「新聞」に対するハードルを低くさせる。
・自分で記事を選べない生徒に対しては、意見を述べやすそうな記事を紹介し、取り組み易くさせる。
・新聞を取っていない生徒に対しては、親戚・友達などからも情報を得るように助言する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・はじめは新聞に対して「難しい」というイメージがあったが、だんだん分かりやすくなってきた。
・記事を読んでいるとどこまでかわからないことが多かったが、先生に教えてもらって分かるようになった。

12．成果と課題

・（成果）取り組み当初は新聞を読んでいない生徒がほとんどだった。また、新聞を購読していない家庭も多く「読み方」をゆっくり教える所からのスタートだった。しかし、取り組みを継続していくと、記事を切り取る、つまり、自分で興味・関心を持つ記事を選ぶ時間が短縮していき、生徒が素早く動けるようになり、意見も持てるようになってきた。また、一定のテーマの記事を選ぶ生徒も出てきた。（例：相談関係・詩など）
・（課題）テレビやインターネットからの情報を得る生徒が多いが、活字の良さをもっと大切にさせる。